

《 もふもふ 最終形態 》

寂しくて、美しい コキアは黄金色へ

※11/3（火・祝）までご覧いただけます。

みはらしの丘のコキアは、紅葉の見頃を過ぎましたが、赤から黄金色へと移り変わる色合いの変化を楽しめます。現在は、赤煉瓦のような赤みの強い茶色で、次第に赤い色が抜け“ホウキ色”へと近づいていきます。11月4日からは春のネモフィラに向けた準備が始まります。陽に照らされると黄金色にも見える「黄金コキア」が楽しめる期間は、ごくわずかです。



みはらしの丘のコキア（2020年10月27日撮影）

◆コキアの物語はいよいよ最終章へ

緑葉、緑と赤のグラデーション、紅葉と移り変わり、みはらしの丘を彩ってきたコキア。枝や葉が枯れ始め、徐々に色がぬけて、ホウキのように固くツツンとしたさわり心地に。秋の日差しを浴びて、黄金色に輝くその姿は、秋の深まりを告げてくれているかのようです。

場所：みはらしの丘 本数：約3万2千本 植栽面積：約1.9ha

◆「コキアでホウキづくり」開催

コキアの和名「ホウキグサ」は、枝や茎を乾燥させてほうきを作っていたことに由来しています。当公園では、毎年、コキアを使ったホウキづくりのイベントを開催。30分ほどで完成するミニホウキは、自然の風合いを楽しむことができ、やわらかな掃き心地で使いやすいと好評です。

開催日：11月14日（土） 時間：①10:00～、②10:45～、③11:30～ 雨天時：中止
 場所：古民家（隠居屋）前庭 申込：事前申込（TEL：029-265-9001） 定員：各回10名
 参加費：300円 協力：みはらしの里パートナー



コキアのホウキ

◆「干支の巨大地上絵」の材料に

この後、コキアは「干支の巨大地上絵」に生まれ変わります。12月下旬から1月上旬にかけて大観覧車の下に登場する当公園の冬の風物詩。公園で集めた自然素材で描き、輪郭に間伐材、影となる部分に松ぼっくりを使用。乾燥させたコキアで来年の干支「丑」の毛並みを表現します。



昨年の“子”の地上絵（2019年12月6日撮影）

Information

常陸ローズガーデンで
「秋バラ」がお楽しみいただけます

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
 TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
 〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://www.hitachikaihin.jp>